

令和2年度

こども文化クラブ事業実施報告書

NPO 法人 鶴岡市芸術文化協会

令和2年度こども文化クラブ事業実施報告

1. 実施概要

鶴岡市総合型文化クラブ事業補助を受け、市内8地区の放課後子ども教室と連携し、鶴岡市芸術文化協会の会員が講師となり、短歌、ちぎり絵、油絵、造形、尺八、文化箏、詩吟、民話、合唱、フラダンス、演劇、華道などの芸術文化活動を子どもたちが体験する機会を設けた。また、鶴岡市中央公民館と共催で、市内小学生児童を対象とした体験教室を開催した。

2. 実施分野

部門	分野	講師団体
文芸部門	短歌	黄雞鶴岡歌会、稲京短歌会
美術部門	ちぎり絵	鶴岡和紙ちぎり絵サークル
	油絵・造形	白甕社
邦楽部門	尺八	鶴岡竹友会
	文化箏	山形県大正琴・文化箏愛好会
吟詠部門	詩吟	日本九重流鶴城清吟会
民俗芸能部門	民話	田川民話の会
洋楽部門	合唱	鶴岡土曜会混声合唱団
洋舞部門	フラダンス	ハウオリフラスタジオ
演劇部門	演劇	表現舎刻一刻
華道部門	華道	草月流山形県支部鶴岡地区

3. 実施会場

- ・上郷コミュニティセンター (上郷地区放課後子ども教室)
- ・三瀬コミュニティセンター (豊浦地区(三瀬)放課後子ども教室)
- ・由良コミュニティセンター (豊浦地区(由良)放課後子ども教室)
- ・大山コミュニティセンター (おおやま放課後子ども教室)
- ・西郷地区農林活性化センター (西郷地区放課後子ども教室)
- ・下山添公民館 (楡引西小放課後子ども教室)
- ・鼠ヶ関小学校 (ねずがせき放課後子ども教室)
- ・湯野浜コミュニティーセンター (湯野浜小放課後子ども教室)
- ・中央公民館 (市内小学校児童対象の教室)

4. 実施期間

令和2年6月から令和3年2月まで

5. 実施回数等

地 区	開催数	参加者数	実施分野
上郷地区放課後子ども教室	11	90	文化箏・尺八・合唱・フラダンス
豊浦(三瀬)放課後子ども教室	10	117	短歌・ちぎり絵・文化箏・民話・華道
豊浦(由良)放課後子ども教室	11	110	短歌・文化箏・フラダンス
おおやま放課後子ども教室	6	210	ちぎり絵・造形・民話・華道
西郷地区放課後子ども教室	6	196	短歌・ちぎり絵・油絵・フラダンス
櫛引西小放課後子ども教室	1	10	ちぎり絵
ねずがせき放課後子ども教室	7	127	フラダンス・演劇・華道
湯野浜小放課後子ども教室	6	122	ちぎり絵・詩吟・演劇
中央公民館	6	16	文化箏・尺八
合 計	64	998	12分野

6. 実施状況写真



短歌
(黄雞鶴歌会)



ちぎり絵
(鶴岡ちぎり絵サークル)



油絵
(白甕社)



造形
(白甕社)



尺八
(鶴岡竹友会)



文化箏
(山形県大正琴・文化箏愛好会)



詩吟

(日本九重流鶴城清吟会)



民話

(田川民話の会)



合唱

(鶴岡土曜会混声合唱団)



フラダンス

(ハウオリフラスタジオ)



演劇

(表現舎刻一刻)



華道

(草月流山形県支部鶴岡地区)



尺八：中央公民館

(鶴岡竹友会)



文化箏：中央公民館

(山形県大正琴・文化箏愛好会)

7. 事業費

(収入)	市補助金	800,000円	
			計 800,000円
(支出)	講師等謝金	404,000円	
	旅費交通費	74,040円	
	通信運搬費	9,240円	
	消耗品費	242,425円	
	賃借料	67,500円	
	雑費	5,500円	
			計 802,705円
			▲2,705円 (芸文協負担)

※参加児童の費用負担はなし

8. 子ども・関係者の声

(1) 子ども達の感想

【中央公民館】

(尺八) 朝陽1小 5年 高田 容玄

ぼくと弟の二人だけだったのにととてもびっくりしました。第一回目では、音出しの練習をしました。一生けん命尺八に息をふきこんでいたら、「プオー。」というまぬけな音が出ました。第二回目では曲の練習をしました。チューリップとうみの演奏をしました。先生に、「上手、上手。」と言われて、ぼくはすっかり調子にのってしまいました。第三回目も曲の練習をしました。メリーさんの羊とおうまの演奏をしました。おうまの連続音がうまくふけませんでしたが、先生は「指をトントンするんだよ。」と、やさしく教えてくれました。その後何回か練習をしていると、尺八から、とつぜん美しい音がひびきました。ぼくは、尺八は楽しい、気持ちいいと思いました。

(文化箏) 朝陽五小 5年 後平 倭那

私は、学校のクラブ活動で文化箏をやるととても楽しかったので、芸術文化活動の体験に参加しました。体験では、「となりのトトロ」を演奏しました。指づかいが、なかなか覚えられなかったのですが、先生に教えてもらいできるようになりました。ありがとうございました。またやりたいです。

【上郷地区放課後子ども教室】

(尺八) 上郷小 3年 長谷川 煌

ぼくは、尺八で長くふけなかったけど、少しだけでもふけたので、うれしかったです。尺八ができてとてもうれしいです。ぼくは、一年生からやっていて、今とくらべると、やっぱり今のほうが上手だと自分では思います。

(尺八) 上郷小 4年 諏訪 由吾

ぼくは、一年生の時からこども文化クラブの尺八に参加しています。最初のころと比べると音も大きく安定してきたと思います。今年は新曲「アメージンググレース」がふえました。サビの所は高く、強く、長く吹かないといけないのでむずかしいです。でも、練習していくと吹けるようになりました。新型コロナの影きょうで、発表はなくなりましたが、指導してくれた先生、ありがとうございました。

(尺八) 上郷小 5年 長谷川 綾

尺八の活動をしてみて普段触れない楽器にふれあえていろいろな曲も吹けて、「尺八はすごい楽器だな。」と思いました。尺八をして今まで知らなかった民ようなどを知ることがたくさんあったので知ることができてよかったです。尺八の先生を見ていて私も、「先生みたいにいろいろな曲を吹けるようになりたいな。」と思っていたので、来年の残り一年がんばっていきたいです。

(尺八) 上郷小 6年 板垣 睦生

私が尺八を始めたのは三年生のころからです。でも、発表するメンバーになれたのは、四年生からです。最初は一曲しかふけなかったけど、一生けん命練習して、今では、十曲以上ふけるようになりました。練習では、自分がにがてな音にも、ちようせんしました。その音は、まだ完ぺきにはふけないけど、ふけた時はとてもうれしかったです。もう、尺八をふくことはないけれど、とてもいい思い出になったと思います。

(文化箏) 上郷小 1年 伊藤 仁心(保護者代筆)

ふだんテレビでしか見ることのない文化箏を体験できる、とのことで文化クラブに応募しました。さわったことのない楽器にふれて演奏もさせて頂き、子どもも大満足だったようです。コロナの関係で習う回数が減ったのがとても残念でしたが、日本の文化を感じることができ、とてもよかったです。ありがとうございました。

(文化箏) 上郷小 2年 はせ川 るね

1年生のときは、なにもできなかつたので、今年はやりたいと思ったので、ことをやりました。さいしょはむずかしかったので、できないと思ったけど、どんどんやっていくたびに、どんどんじょうずになっていってうれしかったです。3年生になってもことをやりたいです。

(文化箏) 上郷小 3年 山戸田 碧希

今年は去年とちがう曲をひいたり、ひく曲の数が去年より多かつたりしました。また、コロナのえいきょうで、やる数がへつたり、発表会がなくなつたりしましたが、うまくやれたので、よかったです。みんなと楽しく活動できたのでよかつたし、またやりたいと思いました。

(音楽) 上郷小 1年 いとう あいり

けんばんハーモニカとにているピアノをやっているそのうちのけんばんハーモニカはあまりやってないのでれんしゅうをできてうれしかったです。一年生が3、4人しかいないけど、けんばんハーモニカをれんしゅうしたいという気持ちだつたり、ともだちがけんばんハーモニカをやってくれて一人でしないですんだからみんながいて「たすかるなー。」とおもいました。またらい年もやりたいです。

(音楽) 上郷小 3年 佐藤 星愛

わたしは、歌うことやえんそうすることが大すきだから音楽は楽しみにしてて楽しかつたけどもっとやりたくていたけど一回しかできなかつたので来年はもっとたくさんやりたいと思いました。

(フラダンス) 上郷小 1年 はせがわ りさら

子どもきょうしつでフラダンスをはじめておどりしました。おどるまえは、フラダンスはどういうおどりなんだろうとおもつてました。フラダンスは、むずかしいとき

もあったけど、いっぱいれんしゅうしたらおはなやおうちのポーズもおどれるようになりました。いまもおぼえているので、いえでもときどきおどっています。フラダンスは、こんなに楽しいんだなあとおもいました。また子どもきょうしつでフラダンスとかをやるときは、またやりたいです。

(フラダンス) 上郷小 4年 大沼 心胡

わたしは、今年いれたフラダンスをしました。初めはふりつけがむずかしくて上手にできなかつたけど二回目にやった時は前より上手にできました。分からないふりつけがあったら先生がやさしく教えてくれました。練習は二回だけしかなくてざんねんでした。もしなにかあったら発表もしたかったです。でも、もし今年またフラダンスをやるのならば、またフラダンスをしたいです。今度やるときは練習を二回だけじゃなく何回もやりたいです。

【豊浦地区（三瀬）放課後子ども教室】

(短歌) 豊浦小 2年 熊谷 莉子

わたしは、たんか作りをはじめてたいけんしてみて、楽しかったです。はじめはどう作ればいいのかわからなかつたけど、たんかは五七五で書くものだと、先生がおしえてくれました。それがわかたら、たくさんのことばや、文しょうが思いついて、いろいろなたんかを作ることができました。五七五七七のリズムに合わせて作るのは少しむずかしかつたけど先生がやさしくおしえてくれたので楽しくできました。はじめてのたいけんができて、うれしかったです。

(ちぎり絵) 豊浦小 6年 佐藤 弓月

私はちぎり絵を体験してとても楽しいと思いました。ちぎり絵をするのは初めてで「上手にできるかな。」と試してみるとの楽しいし、上手にできたことがうれしかったです。上手にできたのは先生方がわかりやすく教えてもらったからできました。たくさん教えていただいてありがとうございます。

(文化箏) 豊浦小 4年 齋藤 楓雅

ぼくは、ことをたいけんしてとてもたのしかつたです。さいしょは「チューリップ」をひきました。何回かひいて、先生におしえられなくても、自分でひけるようになりました。もう一曲は、「きらきら星」です。きらきら星は、けんばんハーモニカでしかひいたことなかつたけど、また何回かひいて、できるようになりました。少しむずかしかつたけど、色々なことをおしえていただき、ありがとうございます。

(民話) 豊浦小 1年 和田 結夏

わたしは、はじめてみんなをききました。みんなをきいて、心にのこつたことがあります。それは、おはなしがぜんぶおわると、「とっぴんからりんねーけど。」とおはなしをよんだ人がいっていて、それをみんなもいっしょにいっていて、とてもおもしろいことばだとおもつたことです。わたしも、そのことばを早くおぼえて、

ともだちといっしょにいいたいとおもいました。らい年もまたききたいです。

(華道) 豊浦小 3年 佐藤 結芽

わたしは、初めてかどうをけんけんしました。お花をかざってあるのは見たことがあったけど、じっさい自分でやったことがなかったのでとても楽しみでした。お花には、いろんなしゅるいや色があってすてきでした。また葉っぱの形もそれぞれちがっていて、おもしろいなど、思いました。先生から、「お花は、水の中で切ったほうがいいよ。そうするとお花が長く生きられるから。」と聞いてお花も生きているのだということに気づけてよかったです。

【豊浦地区(由良)放課後子ども教室】

(短歌) 豊浦小 3年 梅津 更菜

私は、芸術文化活動は今年で三年目です。そこで、今年短歌を初めてしました。ひょう語とはちがって、五七五七七と書くことが分かりました。私は、由良の自まんの海と白山島のことを書こうと思いました。海は太陽の光でキラキラしていることを書こうと思いました。由良の自まんを短歌に生かしていくことができうれしかったです。他のことも、短歌に生かしたいなど思いました。

(文化箏) 豊浦小 4年 小野 友麻俐

わたしはことをしていろいろなことを、教わりました。たとえば、ひきかたやすわり方などを教えてもいただきました。わたしは、1年生のころから4年生までことを、続けていたのでかんたんな曲はできます。けれども、むずかしい曲は練習をしなければできませんでしたが、ことの先生から教えてもらったので、ひけるようになった曲もありました。ほかにもいろいろな曲にちょうせんできたのでとてもたのしかったです。

(フラダンス) 豊浦小 3年 石川 結愛

わたしは、フラダンスをはじめてしたとき、ワクワクしました。先生はやさしくおしえてくれたので、楽しくおどれました。今は、コロナのせいでフラダンスができなくなり悲しい気もちですが、コロナがおさまったらみんなにまたおひろめしたいです。そして、見にきてくれた人がえがおになってくれたらうれしいです。

【おおやま地区放課後子ども教室】

(ちぎり絵) 大山小 2年 水野 ひまり

ナスとトマトのちぎり絵をしました。形を作る時、細かくちぎるのが、むずかしかったです。でも、きれいにちぎることができました。中でも、光をあらわす白い紙をはるのが、とくに大へんでした。のりが手について、べたべたになりました。でも、こん気よくていねいに作ることができました。できあがりは、本ものみたいに、うまそうでした。お母さんにほめられました。とても楽しかったです。また、やりたいです。

(ちぎり絵) 大山小 2年 田澤 芽依

10月にナスとトマトのちぎり絵をしました。でも、むずかしいところがいっぱいありました。その中でも形を作るところです。それにのりでつけたら手がべたべたになりました。ふきんで、手をふきながら、がんばって作りました。そしてようやく、作れました。できあがったのを見ていると、本もののようにきれいでした。家に帰って、お母さんと、お父さんからほめられました。またこんど、ちぎり絵を作ってみたいです。

(華道) 大山小 3年 水口 友妃

クリスマス用の花をいけました。つけた花の名前は、白い花はストック、葉はモンステラ、えだ物は赤みづきの三しゅるいでした。かきはペットボトルをリサイクルして作ったと知ったときは、びっくりしました。ペットボトルに星のシールをはると、ますますクリスマスっぽくなりました。家にもって帰って、クリスマスツリーのかわりにかざりました。ストックは、いつまでもにおいがよくて、気持ちよかったです。

(華道) 大山小 4年 谷井 稟典

ぼくは、最初はへんな名前だなあと思いました。正直めんどくさいと思っていましたが、しょうがないなと思いながらホールに行ったらふつうに楽しそうなので、ちょっと安心しました。始まったらまず、花の名前を教えてくださいました。次にやり方をおしえてくれました。正月までかざったらきれいだと言っていました。室温をできるだけ低くすると正月までもつとっていたので、家の温度をできるだけ低くするようにしました。楽しかったので、またやりたいです。

(造形) 大山小 4年 池田 芽衣

発泡スチロールで犬を作りました。頭、胴体、しっぽ、足4本を組み立てて、三十センチの大きさになりました。大山はめっけ犬が有名なので、わたしはにせようと思いましたが、でもなかなか形が決まらずたいへんでした。走っているすがたを、あらわしました。色づけは白、茶色にしました。手についたり服にペンキがついて、みんな大さわぎでした。完成して、かざったら大山地区の人たちからほめられました。今は家にかざってあります。

(造形) 大山小 4年 佐藤 愛琉

最初この活動を聞いた時は、そんなに面白い活動ではないなと思っていました。でも、この活動をやっていると共に、どんどん楽しくなっていき、完成した時はうれしかったです。まず、犬の体をつまようじでくっつけ、次に犬の体に色をぬりました。ここが一番大へんでした。最後に板に犬をはりつけて完成しました。とても楽しくてよい思い出になりました。

【西郷地区放課後子ども教室】

(短歌) 西郷小 2年 本間 ひより

短歌を考えていると、いろいろなことを思いついて楽しかった。

(短歌) 西郷小 3年 田村 歩夢

はじめは何を書けばいいか迷ったけれど、なれてくるとどんどんできるようになって楽しかった。

(短歌) 西郷小 4年 佐藤 綺季

ふだんやったことのないことが体験できてとてもよかった。31文字以内に伝えたいことを書くのが難しかった。

(短歌) 西郷小 5年 佐藤 聖真

言葉を選ぶことと、言葉の順序を考える事が難しかった。よい経験になった。

(ちぎり絵) 西郷小 1年 本間 花菜

紙をちぎるのが難しくてへんな形になってしまったけど、最後には自分でちぎれて、がんばってよかった。

(ちぎり絵) 西郷小 2年 齋藤 彩那

切ったり貼ったりするのがとても楽しかった。自分で貼る場所を考えて貼ると、とてもきれいにできてよかった。

(ちぎり絵) 西郷小 2年 杉山 嘉南

きれいにできてとても楽しかった。またやりたい。

(ちぎり絵) 西郷 4年 田中ひより

家ではちぎり絵をしていなくても、去年と一昨年の作品を飾っていて、またひとつ増えてとてもうれしい。

(油絵) 西郷小 1年 田村 帆希

絵の具が足についてとれなくなったけど、とても楽しかった。

(油絵) 西郷小 5年 田村 圭汰

油絵が一番楽しかった。自分で形を決めて、色も自分で作る場所が楽しかった。

(フラダンス) 西郷小 1年 阿毛 瑠樹

フラダンスはゆったりとしていてとても気持ち良く踊れました。

(フラダンス) 西郷小 4年 本間 豪

「アロハ」と言うところが気に入りました。言うところを覚えて「アロハ」と言うとても気持ちよく踊れて楽しかった。

(フラダンス) 西郷小 4年 菅原 遙斗

疲れるところもあったけれど、「熱い砂」のところは面白くて楽しかった。

【櫛引西小放課後子ども教室】

(ちぎり絵) 櫛引西小 4年 齋藤 ほの花

わたしは、ちぎり絵をするのが初めてでした。「ちぎり絵って、かんたんなのかなあ。」と、思っていました。しかし、やってみると、思うようにはいかず、ちぎれたり、へんな形になるのです。友達は、かわいくできているのに、何でできないのって思っていたら、ちぎり絵の先生がきてくれて、いろいろ教えてくれました。わたしのちぎり絵は、かわいく完成しました。みんなもかわいいと言ってくれて、うれしくなった。ちぎり絵は、とってもおもしろいと思いました。また、ちぎり絵をしたいです。

【ねずがせき放課後子ども教室】

(演劇) 鼠ヶ関小

- ・始めは緊張したけどみんなできて良かった。
- ・何かに変身して表現することが楽しかった。
- ・鬼の役をしてリーダーみたいにみんなをまとめることができ良かった。けんかもあったけど、最後はみんな仲良くなって良かった。また来て参加出来なかった子達にも教えてほしい。

(フラダンス) 鼠ヶ関小

- ・フラダンスを曲に合わせて裸足で踊るのが楽しかった。
- ・フラダンスの手の動きには意味があることが初めてわかったし、ゆっくりな動きだけど体力を使うことがわかった。
- ・先生の踊りが凄く上手だった。優しく教えてくれ好きになった。

(華道) 鼠ヶ関小

- ・いろいろな花を飾れて楽しかった。
- ・ペットボトルも花を生ける容器になりびっくりした。
- ・ハサミで花を切り、いろいろな飾りをするのが楽しかった。

【湯野浜小放課後子ども教室】

(ちぎり絵) 湯野浜小 1年 五十嵐 優奈

わたしは、はじめてちぎりえをしました。もうすぐハロウィーンだったので、ジャック・オ・ランタンをつくりました。ゆびでちぎるのがむずかしかったです。のりでぺたぺたはるのがたのしかったです。じょうずにできて、せんせいに「じょうずだね。」といわれたのでうれしかったです。こんどちぎりえをするときにはお花をつくりたいです。

(ちぎり絵) 湯野浜小 3年 菅原 愛華

わたしは、ちぎり絵をはじめてしました。ちぎり絵の先生はやさしく教えてくれ

て、うまくできたところは、パンプキンの顔と目です。顔では水をつける時にすぐ水がかわくのでむずかしいと思ったけどうまくできたのでよかったです。目はすぐうまくできました。むずかしかったのは、ほうしと口です。ほうしは、ちぎり絵の先生といっしょにほうしのおる所をやってむずかしかったけどおもしろかったです。ちぎり絵は、またしたいです。

(詩吟) 湯野浜小 2年 黒井 悠雅

ぼくは、はじめてしぎんをしました。さいしょはしぎんは、しらなかったけど、やってみたらとても楽しかったです。そして、すぐれんしゅうをがんばると、だんだんじょうずになりました。二回めのときには、みんなもじょうずでした。そのほかにもしぎんのかしもおぼえてました。そして先生にもっとくわしく、大きなせんすをさかさまにするとふじ山ににているとか、いろいろおしえてもらいました。しぎんは、いろんな音やしゅるいがあるとも聞きました。とても楽しかったです。またやりたいです。

(演劇) 湯野浜小 2年 五十嵐 陸

ぼくは、はじめてえんげきをしました。えんげきはやったことがなくてやってみたらすごくてのしかったです。思いでにのこりました。みんなとやれてうれしかったです。まわりを見てみるとみんな人の考えをきいているのですごくすごくやさしいなと思いました。人と人でやりとりをしてりっぱな小学生だなと思いました。みんな人と人につながっていてすごいと思いました。やっぱり小学生はほいくえんじよりもちがうなと思いました。ぼくも、あんな小学生になろうと思いました。

(演劇) 湯野浜小 3年 阿部 咲夏

わたしは、はじめてえんげきをしました。さいしょは長い糸で大きい星を作った事が楽しかったです。糸をあやとりの様に作ったのがむずかしかったです。わたしは、あやとりがとくいなので、長い糸で作る星も、むずかしかったけど楽しかったです。さいごは、みんなで「かつおぶしだよ人生は」という曲をおどりました。ふりつけがむずかしかったけど、先生がやさしく教えてくれたのでうまくおどれたのがうれしかったです。

(2) 講師・指導者の感想

- ・子ども達は喜んで制作してくれた。1～2年生は和紙をちぎることも出来ない、力が弱いことが分かった。時間内(1時間)に完成すると笑顔になり、後片付け等も生き生きとやってくれた。
- ・大変意欲的、積極的で、進んでこちら(講師)に声をかけて質問したり、作品の感想を求めたりする子どもが多かった。絵が苦手な子どもも楽しめるようにと考案した題材だったが、初めての油絵を楽しんでくれている様子が伝わってきて嬉しかった。事前に汚れてもいい服でと連絡はして頂いたものの、それにしても手、

服、足まで絵の具をつけた子が多く出てしまったこと、申し訳なく感じた。(親御さんの仕事を増やしてしまった) 反省点です。

- 二つのグループに分かれ、一つは基本的な音出し、指の運び方を教授。二つのグループにはモチベーションに大きな差があった。総じて、集中して参加する姿勢が二極化し、指導の難しさを感じた。
- 見たこと、聞いたことのない楽器、音色に興味津々でなにをやるんだらうという好奇心で子供たちの目の輝きを感じながら始まった。漢詩を全員で音読し(教材は全部ひらがな使用)意味を解説し、楽器に合わせ大きな声で吟詠する。学校で学習しないことを放課後、子供たちが体験できる事は、彼らの心と感性に大いにプラスになることと思います。
- 民話語り実演と、児童も語りと体を動かす手踊りを体験する。楽しそうに、積極的に取り組んでもらった。高齢者(語り部)との交流と語りというものを知って頂いたと思う。
- 比較的に低学年の参加が多く、まとめるのが大変でしたが、演劇ごっこ的な面白さや、踊りを一生懸命に踊ってくれたのは収穫でした。役の人物を決めるのも希望にしましたが、皆んな積極的でしたのもしきもあつたが、大勢の子供に均等に教える難しさも感じました。しかしながら、みごとに役にはまる子もいて、その子の特性を見つける楽しさや、演劇に興味を持つ子もいて、有意義な教室でもありました。今後色々と研究していきたいと思いました。
- 少ない回数で、一曲覚えて踊ることは簡単ではありませんが、子供達が興味を持って楽しい！と参加できると、私たちが思うよりずっと早くに沢山の事を吸収してくれます。子供は素直なので、楽しければフラにも表れます。子供達の頑張り披露できるステージがあればより達成感があると思います。
- 飽きやすい部分も見受けられましたが、とても興味深く取り組んで楽しい！といってくれる子どもたちも。楽しみながら踊られる様に指導していくことが講師としての課題かと感じました。
- 自由な自己表現、それぞれの想いをハッキリと伝えてくれました。植物を用いての立体造形である生け花、自分の世界に没頭し完成した生け花を展示し、皆とても嬉しそうでした。
- 地域への愛着と誇りは流木を海で拾う事ができる環境を知ってほしいと思い、使用しました。自分自身を表現することのよろこびを今回子供達に蒔かれた種がいつの日か芽が出てくれる事を願います。子供達のパワーに私達が感動、元気を頂きました。

(2) 子ども教室関係者の声

- ・コロナの影響で、様々な制限下ではあったが、各教室が実施できて良かったと思う。今年度も「芸能のつどい」が中止になり、尺八や文化箏の発表の場がなくなったのは残念だったが、この事業を通して今まで体験したことのない活動が出来、子供達にとって大変有意義な時間となったと思う。
- ・子供の頃から芸術文化に触れ親しむ機会がなかなかないので、とても勉強になり、いい体験ができたのではないかと感じます。わからないことは質問したりしていました。
- ・毎年何に参加すればと選ぶ時、子ども達とのコミュニケーションにもなりとても楽しみです。子ども達が心待ちにしている教室がコロナ禍で開催できない事、また発表の場が無い事、地域の方々に見て頂けないことが残念でした。
- ・初めは、とりかかり始め、なんだか意欲にかけていた部分もありましたが、進めていくうちに子どもたちの発想ややる気がどんどん発揮され最終的に集中力もアップ。良い経験をする事ができました。
- ・新しく油絵と短歌教室を実施したが、先生がとても熱心に教えてくださり、とてもよい活動になった。地区の文化祭に多数展示して、地元の方々からとても好評だった。
- ・毎年楽しみにしている子供も多く、年々上達が感じられる。普段は体験できないことにチャレンジすることにも喜びを感じている。
- ・用具や季節に合った子供向けの花材等を準備して頂き、子ども生け花の良いスタートだった。子ども達はめったにない貴重な体験をでき、スタッフもとても勉強になった。
- ・どのように進めていくのか、どんな内容なのかスタッフもわからず不安もありましたが、どの講師の方々も子ども達のことを考えて指導して下さい、楽しむことが出来ました。
- ・ちぎり絵も詩吟も演劇も、どの子も経験がなく、どの程度分かって出来るのかの心配もありましたが、初めてなりにですが、文化に触れるおもしろさを味わうことが出来たと思います。特に今年は、コロナウイルスの影響で行事も減り、様々なことを経験する機会も減っていたので、このような事業は有難かったです。

9. 事業の効果

平成28年度から3ヵ年実施した山形県総合型文化クラブモデル事業を継承し、鶴岡市の補助事業として鶴岡市総合型文化クラブ事業がスタートして2年目。子どもたちが文化芸術に触れ親しむ機会を創出する「こども文化クラブ事業」を実施しました。

当協会加盟12団体から講師を派遣し、地域の放課後子ども教室等と連携しながら、また一部中央公民館と共催で、64教室を開催、延べ998名の児童に対する文化芸術活動の支援を通して、子どもたちの豊かな感性を育み世代間交流を実現できました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から活動発表の機会が少ない中、限定的とはいえ地域の踊り発表会や作品展での作品展示など、地域住民との交流を通じながら温かい励ましを受けて、子どもたちの大きな自信につながりました。